

ROV(水中ドローン)で 水中を観る・診る!



FIFISH V6



CHASING M2S



GLADIUS mini

社会基盤保全事業

水中構造物の状況把握

橋脚・護岸の洗掘、貯水槽内、鋼矢板、係留ロープ確認等

貯水槽内の変状把握



画像
処理



ひび割れ

※変状が明確になります。



鋼矢板の陽極取り付け状況

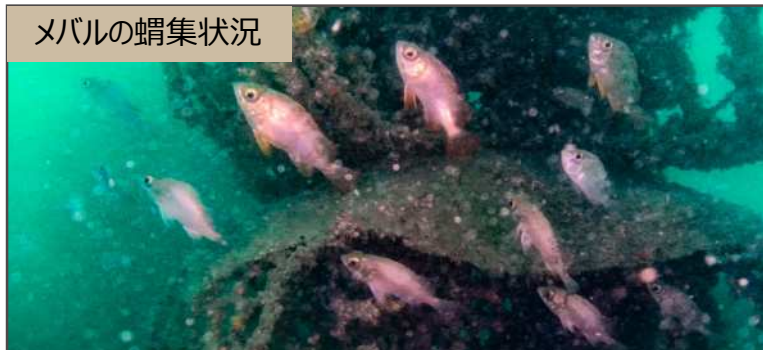


係留ロープの付着物状況

水中生物の確認

蛸集効果、海底生物の生息確認

メバルの蛸集状況



アジの回遊状況



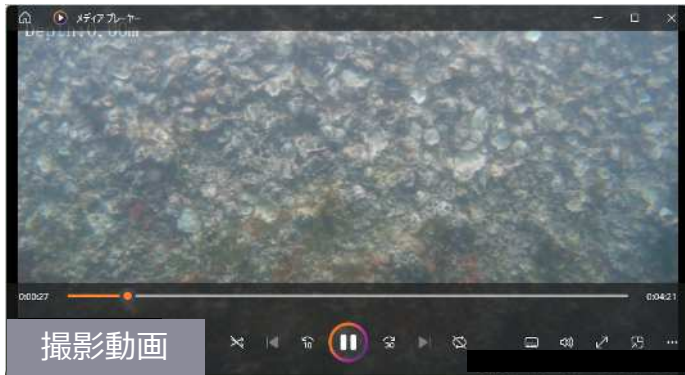
※魚類が逃げることなく、近接して撮影可能です。



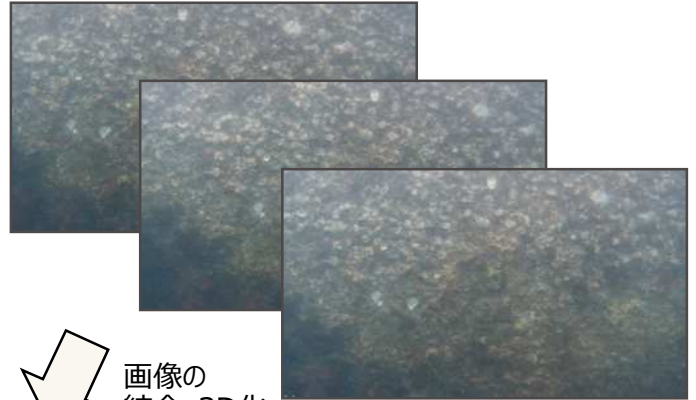
日本ミクニヤ株式会社

撮影データの活用

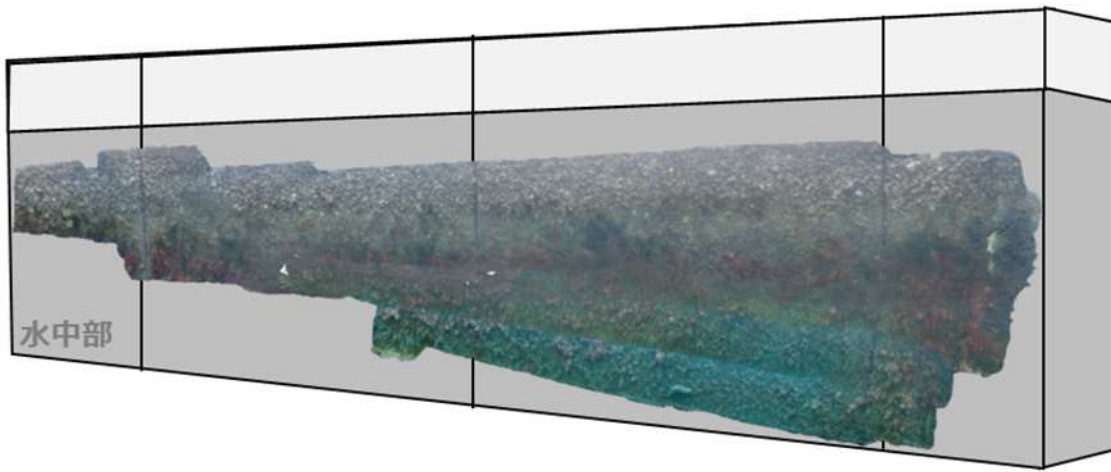
画像結合、3D化



フレーム
抽出



画像の
結合・3D化



■ 水中構造物の立体化

- ・撮影動画よりフレームを抽出し画像結合・3D化が可能です。
- ・構造物を立体化することで、より詳細な状況（水中の概要、変状の位置、大きさ等）が把握できます。

※撮影状況（撮影法、対象物、透明度、浮遊物等）により結合できない場合もあります。

ROV（CHASING M2S）の仕様・オプション機能

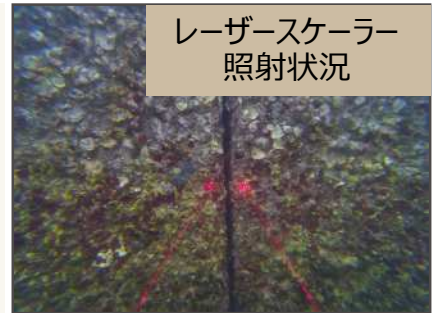
■ 仕様

- ・最大深度：100m(ケーブル長200m)
- ・最大速度：1.5m/s (3knots)
- ・航続時間：1.5h程度
(作業状況により異なる)
- ・画素数(静止画)：12M (4000×3000)
- ・解像度(動画)：4K (3840×2160)
1080p (1920×1080)

■ オプション機能

- ・レーザースケラー：機体前方に幅10cmのレーザーを照射することで、撮影対象物のスケールや変状の大きさを把握できます。
- ・LEDライト：機体搭載済のライト(2×2000LM)に加え、機体上部に12000LMのLEDライトを搭載でき、暗所での撮影も可能です。

レーザースケラー
照射状況



業務実績

	業務内容	業務期間	受託先
環境	魚類蛸集調査	H30～R2年度	地方自治体
	牡蠣筏係留ロープ状態確認	R4年度	民間企業
維持補修	漁港変状調査	R5年度	民間企業
	貯水槽内損傷調査	R5年度	民間企業



日本ミクニヤ株式会社
防災・環境分野のリスクコンサルティング企業

お問い合わせは、HP内の『お問い合わせ』へ
<https://www.mikuniya.jp/>

